

2023年6月26日

各位

企業価値増大に向けた成長・新規事業及び製錬事業の戦略構想について

当社は、現状のPBR1倍割れからの早期脱却、さらには安定的な企業価値増大を目指しており、2023年4月24日には、具体的課題と合わせ、事業戦略検討チームを次期社長候補の伊藤中心に立ち上げた旨をリリースさせて頂きました。

チーム立上げ以降検討を重ね、今回、成長・新規事業領域及び製錬事業の方向性について、2021年5月にリリースした10年ビジョンのプロセスをより具体化すべく事業戦略を策定し、現在、社内で下記具体策を順次進めております。

- (1) 成長事業である電子部材・機能材料事業については、気候変動対策を牽引する電気自動車（EV）の普及と省エネ需要の増大により高度なエネルギー制御が必要とされており、その実現には要求に応じた多種多様な電子部材及び機能材料が求められます。当社は、自社の力だけでなく、状況に応じて積極的にアライアンスを活用し、生産及び開発体制の強化を進め新たなニーズに対応します。
- (2) 新規事業として検討を進めているLiBリサイクル事業については、2021年からパートナー企業との共同研究に着手するなど研究開発に取り組みました。今後は既存設備を最大限活用し早期の事業参入を行いつつ技術的なノウハウをさらに蓄積し、新電池に対応したコンソーシアムの形成など条件が整い次第新規工程の導入による事業拡大を目指します。
- (3) 製錬事業については、亜鉛製錬工程のコンパクト化により確保した工程能力の余力を最大限活用し、二次亜鉛原料（リサイクル原料）を使用した新たな亜鉛製錬体制を構想しております。また、亜鉛・鉛製錬のシナジー効果を追求した「リサイクルコンビナート構想」を実現し、競争力強化はもとより、社会的要請である高リサイクル原料率と低GHG負荷の非鉄金属製品の安定的な供給を目指します。

当社はこれからもステークホルダーの皆様のご理解を得ながら事業ポートフォリオの再構築を進め、企業価値増大に向けた改革を加速させてまいります。

以上

企業価値増大に向けた成長・新規事業及び製錬事業の戦略構想

青：検証中や実施直後

赤：利益改善効果が顕在化

